

正会員

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| オーストラリア全国安全評議会 (NSCA) | マレーシア労働安全衛生協会 (MSOSH) |
| オーストラリア災害防止基金 (IFAP) | 国立労働安全衛生研究所 (NIOSH : マレーシア) |
| 中国職業安全健康協会 (COSHA) | マレーシア労働安全衛生専門家協会 (MOSHPA) |
| 中国安全生産協会 (CAWS) | 労働安全衛生マネージメント協会 (IOSHM : モーリシャス) |
| 中国中鋼集団武漢安全環境保護研究院 (SEPRI) | パキスタン安全協会 (PSC) |
| 香港職業安全衛生協会 (HKOSHA) | フィリピン安全協会 (SOPI) |
| 香港職業安全健康局 (HKOSHC) | フィリピン安全管理者協会 (ASPPI) |
| 香港労働安全衛生協会 (IOSH-HK) | フィリピン職場安全推進協会 (WASPI) |
| 中華民国工業安全衛生協会 (ISHA) | シンガポール全国安全評議会 (NSCS) |
| インド全国安全評議会 (NSCI) | シンガポール安全管理者協会 (SISO) |
| インドネシア全国安全衛生評議会 (NSHCI) | スリランカ労働安全衛生協会 (WSHA) |
| 労働安全衛生能力認定研究所 (ICCOSSH : インドネシア) | タイ労働安全衛生促進協会 (SHAWPAT) |
| 中央労働災害防止協会 (JISHA) | ベトナム国立労働安全衛生研究所 (VNNIOSH) |
| 韓国産業安全保健公団 (KOSHA) | ベトナム労働安全衛生協会 (VOSHA) |
| 韓国産業安全協会 (KISA) | |

準会員

- | | |
|-------------------|--------------|
| ブルネイ開発省建設庁 (ABCI) | マカオ労働局 (LAB) |
|-------------------|--------------|

関係団体

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| ドイツ法定災害保険 (DGUV) | アメリカ安全技術者協会 (ASSP) |
| 労働安全衛生作業環境協会 (SOSHWE : インドネシア) | 認定安全専門家評議会 (BCSP : アメリカ) |
| 安全衛生環境マネージメント研究所 (ISHEM : モーリシャス) | アメリカ安全評議会 (NSC) |
| 労働安全衛生協会 (IOSH : イギリス) | 世界安全機構 (WSO : アメリカ) |

(正会員 29 団体 準会員 2 団体 関係団体 8 団体)



全ての人のための
持続可能な開発に向けた
安全衛生を考える。

APOSHO 35 JAPAN

Designing OSH
for sustainable development
for all

オンラインによる日本開催決定

アジア太平洋安全衛生大会 APOSHO 35

※厚生労働省補助対象事業

 **開催期間**

令和3年 **10月27日** 水 ~ **28日** 木

第80回全国産業安全衛生大会(東京)
緑十字展2021と同時開催

 **参加費**

無料 [要事前登録] (APOSHO会員を除くオンラインによる一般参加者)

 **開催方法**

- オンライン開催 開会式、基調講演、技術発表等のライブ・オンデマンド配信を予定
- サテライト会場 東京国際フォーラム ホールD1 (東京都千代田区丸の内3丁目5番1)

開催及び事前登録方法の詳細はAPOSHO35特設サイト
(<https://www.aposho35.jp>)でお知らせします。



大会主催者からのご挨拶



中央労働災害防止協会
理事長
八牧 暢行

本大会では、アジア太平洋地域の主要各国に一部の欧米諸国を加えた21ヵ国・地域の加盟39団体の参加のもと、新型コロナウイルス感染防止対策としてオンラインで、2日間にわたって基調講演や技術発表等が行われます。そして、これらを通して、参加国・地域における労働安全衛生分野における情報交流と同地域の労働災害の撲滅を目指します。

また、その意義を一段と高めるとともに、第80回を迎える「全国産業安全衛生大会(東京大会)」及び「緑十字展」(共にハイブリッド開催)と同時に開催されます。日本の労働安全衛生や災害防止に携わる行政・学会・関連団体のみならず、アジア太平洋地域で事業を展開されている産業界・企業の参加により、アジア太平洋地域及び日本の労働災害の防止に大きく貢献することが期待されます。多くの皆様のご参加をよりしくお願いします。

アジア太平洋安全衛生大会(APOSHO35)の概要

APOSHO(アジア太平洋労働安全衛生機構)とは

アジア太平洋地域における安全衛生分野の活動の促進や情報の交流などを目的し、1985年に設立された非営利の労働安全衛生団体を正会員とする組織。日本、中国、香港、台湾、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、インド、スリランカ、パキスタン、オーストラリア、モーリシャスの29団体が正会員、アメリカ、ドイツ、イギリスなどの団体が関係団体等として加盟。日本からは中災防が参画しています。

APOSHO年次総会は、各国の団体の持ち回りで毎年開催されており、日本での開催は、1988年(第4回)及び1989年(第5回)から実に32年ぶりの開催となります。日本では今回の第35回「アジア太平洋労働安全衛生機構年次総会」をより多くの方に安心してご参加いただくよう、名称を「アジア太平洋安全衛生大会」(APOSHO35)としてオンラインで開催いたします。



APOSHOには、日本から中央労働災害防止協会(JISHA)が加盟しています。(正会員29団体 準会員2団体 関係団体8団体)

APOSHO事務局長からのご挨拶

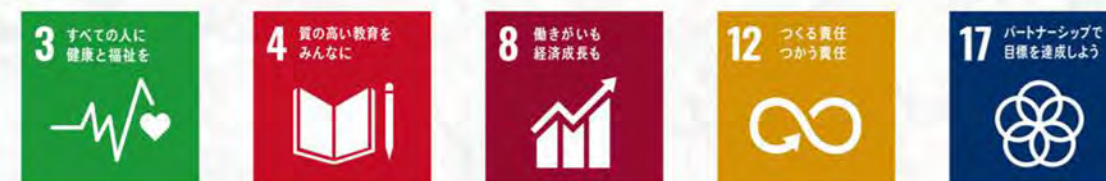


APOSHO 事務局長
バーニー・ドイル

2021年の第35回アジア太平洋労働安全衛生機構年次総会(APOSHO35)が日本を事務局として10月に開催されます。歴史ある全国産業安全衛生大会と緑十字展との同時開催により、オンラインでありながらもその熱意や盛り上がりを感じながらAPOSHO35を開催できることに、これまでになく魅力と期待を感じています。日本の多くの皆様にこのAPOSHO35に参加していただき、アジア太平洋地域及び日本の労働安全衛生活動の向上と労働災害の防止・削減に大きく資してまいりたいと思います。

開催コンセプト

- ・アジア各国の安全衛生団体の参加のもと、情報発信・共同学習・意見交換等を実施
- ・アジア各国・地域の最新の安全衛生情報の入手
- ・アジア地域及び参加各国、企業の労働安全衛生水準の向上
- ・持続可能な開発目標(SDGs)達成に貢献



開催スケジュール

オンライン参加もしくはサテライト会場(東京国際フォーラム ホールD1)にてオンライン中継の視聴

日程	プログラム
令和3年 10月27日 [1日目]	APOSHO 開会式、基調講演等(同時通訳)
令和3年 10月28日 [2日目]	技術発表(同時通訳) (国内外から労働安全衛生に関する発表を予定。 なお、国内外からの一般発表の募集はございません。)



今後の具体的なスケジュールや参加登録方法等については決定次第、APOSHO特設サイト(<https://www.aposho35.jp>)に掲載されます。